



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月15日

上場会社名 株式会社プロジェクトカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 9246 URL <https://projectcompany.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)土井 悠之介
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)新宅 央 (TEL)03(6459)1025
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,462	—	362	—	357	—	245	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	48.71	44.87
2020年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2020年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の数値及び2021年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2021年6月2日付で株式1株につき10株の分割を行っております。2021年12月期の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 2021年9月29日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2021年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年12月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,187	1,558	71.2
2020年12月期	1,061	479	45.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,558百万円 2020年12月期 479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2021年12月期	—	0 00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,100	90.2	468	165.9	460	170.6	316	179.6	61.22

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2. 2021年6月2日付で株式1株につき10株の分割を行っております。2021年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、2021年12月期の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。
 3. 業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	5,385,900株	2020年12月期	5,045,900株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	一株	2020年12月期	2,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	5,047,658株	2020年12月期3Q	一株

- （注） 1. 2021年6月2日付で株式1株につき10株の分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。
 2. 2020年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社は前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)における我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症流行の影響が長期化して先行き不透明な状況が続く中、多くの企業が環境変化への対応と新たな価値の創出を両立することを模索している状況と推察されます。

そうした中、当社が事業展開するデジタルトランスフォーメーション(DX)市場におきましては、同感染症流行後のニューノーマル定着や政府によるDX支援も追い風となり、市場規模が順調に拡大しております。特に大手企業を中心に、既存のビジネスモデルを大きく変化させる新たな潮流として、DXに強い関心が寄せられております。このような状況下において、当社は様々な業界の主要企業に対し、DX戦略立案から新規事業開発・既存事業変革支援、そしてデジタルマーケティングやUI/UXの改善まで一連のDX支援サービスを一貫して提供できる強みを持って、ソリューション横断でのDX案件を多数受注し、クライアントの事業推進を支援してまいりました。

当第3四半期累計期間のサービスごとの売上高は、コンサルティングサービスが808,035千円(前年同期比+68.8%)、マーケティングサービスが397,500千円(前年同期比+91.2%)、UI/UXサービスが256,201千円(前年同期比+162.7%)といずれも成長を維持しております。過去の支援実績、業務品質を評価いただいている既存クライアントからの追加発注と同時に、新規クライアントの獲得にも成功している状況です。また、クライアントがDXの特定領域にのみ課題を抱えることは少ないと当社は認識しており、例えば入り口はUI/UXについてのご相談であっても、結果的に領域をまたがるDXの課題解決のためのより本質的な提案を行う余地があるケースも多いことから、新規クライアントについても領域横断での提案を行うことによって、顧客単価向上により一層売上高を拡大させる余地があると判断しております。当社の提供サービスの性質上、一度受注すれば中長期的に継続支援させていただくことが多く、当第3四半期累計期間の売上に占めるストック売上(6か月以上の連続受注を獲得したクライアントからの売上のうち、スポットの性質が強い広告出稿やユーザーテスト等を除いたもの)の比率は87.4%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,462,338千円、営業利益は362,628千円、経常利益は357,910千円、四半期純利益は245,847千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,994,519千円となり、前事業年度末に比べ1,104,530千円増加となりました。これは主に、新株発行等により現金及び預金が1,012,206千円増加したこと、売掛金が84,593千円増加したことによるものであります。固定資産は181,167千円となり、前事業年度末に比べ14,951千円増加となりました。

この結果、総資産は2,187,803千円となり、前事業年度末に比べ1,126,126千円増加となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は408,995千円となり、前事業年度末に比べ125,246千円増加となりました。これは主に、買掛金が42,053千円増加したこと、未払法人税等が44,000千円増加したことによるものであります。固定負債は220,050千円となり、前事業年度末に比べ78,763千円減少となりました。これは主に、社債及び長期借入金合計76,868千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は629,045千円となり、前事業年度末に比べ46,482千円増加となりました。

③総資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,558,757千円となり、前事業年度末に比べ1,079,643千円増加となりました。これは、四半期純利益245,847千円を計上したことにより利益剰余金が増加したこと、及び東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う新株発行及び自己株式の処分により、資本金が414,460千円、資本剰余金が418,836千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.2%(前事業年度末は45.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,407	1,722,613
売掛金	166,815	251,408
その他	12,765	20,496
流動資産合計	889,988	1,994,519
固定資産		
有形固定資産	39,786	52,725
無形固定資産	14,257	10,031
投資その他の資産	112,173	118,410
固定資産合計	166,216	181,167
繰延資産	5,472	12,116
資産合計	1,061,676	2,187,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,427	83,480
1年内償還予定の社債	52,400	52,400
1年内返済予定の長期借入金	30,453	15,152
未払法人税等	58,050	102,050
賞与引当金	—	16,075
その他	101,418	139,835
流動負債合計	283,749	408,995
固定負債		
社債	121,400	74,000
長期借入金	171,098	141,630
その他	6,315	4,420
固定負債合計	298,813	220,050
負債合計	582,562	629,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	311,950	726,410
資本剰余金	—	418,836
利益剰余金	167,664	413,511
自己株式	△500	—
株主資本合計	479,114	1,558,757
純資産合計	479,114	1,558,757
負債純資産合計	1,061,676	2,187,803

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,462,338
売上原価	746,595
売上総利益	715,742
販売費及び一般管理費	353,114
営業利益	362,628
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	1
営業外収益合計	8
営業外費用	
支払利息	1,803
社債利息	276
株式交付費償却	565
社債発行費償却	1,069
支払保証料	1,010
営業外費用合計	4,725
経常利益	357,910
税引前四半期純利益	357,910
法人税、住民税及び事業税	121,182
法人税等調整額	△9,118
法人税等合計	112,063
四半期純利益	245,847

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年9月29日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。上場にあたり、2021年9月28日を払込期日とする公募による新株発行及び自己株式の処分により、資本金が414,460千円、資本剰余金が418,836千円増加しております。

これにより、当第3四半期会計期間末において、資本金が726,410千円、資本剰余金が418,836千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、デジタルトランスフォーメーション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

2021年8月24日及び2021年9月7日開催の当社取締役会において、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による募集株式の発行について以下のとおり決議し、2021年10月27日に払込が完了しております。

募集株式の発行の概要は次のとおりであります。

1. 募集株式の発行概要

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式	161,300株
(2) 払込金額	1株につき	金2,184.50円
(3) 払込金額の総額		金352,359,850円
(4) 割当価格	1株につき	金2,438円
(5) 割当価格の総額		金393,249,400円
(6) 増加する資本金及び 資本準備金に関する事項	増加する資本金1株につき 増加する資本準備金1株につき	金1,219円 金1,219円
(7) 割当先及び割当株式数	株式会社SBI証券	161,300株
(8) 申込株式数単位		100株
(9) 申込期日	2021年10月26日(火曜日)	
(10) 払込期日	2021年10月27日(水曜日)	

(注) 払込金額は会社法第199条第1項第2号所定の払込金額であり、割当価格は割当先より払い込まれる金額であり、東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴い発行した株式の募集の引受価額と同額となります。

2. 手取金の使途

今回の第三者割当増資による手取概算額393,249千円につきましては、2021年9月8日に公表した「有価証券届出書の訂正届出書」に記載のとおり、①人材の採用・育成費、②新規事業の検討・開発、③オフィスの増床、④借入金の返済に充当する予定であり、残額については、将来における当社の成長に寄与するための支出、投資に充当する方針であります。当該内容等については現時点で具体化している事項はなく、今後具体的な資金需要が発生し支払時期が決定するまでは、安全性の高い金融商品等で運用していく方針であります。